きいちゃん
（大会マスコットキャラクター）

令和元年 5 月 30 日	
資　料　提　供	
担当課	県立学校教育課 全国高総文祭推進室
担当者	西林・井田
電　話	073-441-2702

紀の国わかやま総文 2021 開催に向けて動き出す！
～実行委員会設立会・第 1 回実行委員会の開催～

令和元年 5 月 29 日に文化庁から通知があり、**令和３年の全国高等学校総合文化祭の本県開催が正式に決定**しました。このことを受け、県・市町・関係団体の総力を挙げて大会開催準備を進めていくため、実行委員会を立ち上げることとなりました。

つきましては、下記のとおり「第 45 回全国高等学校総合文化祭和歌山県実行委員会設立会」及び「第 45 回全国高等学校総合文化祭第 1 回和歌山県実行委員会」を開催します。

なお、第 1 回実行委員会において、これまでに公募し、決定した大会テーマ・大会テーマ毛筆表現・ポスター原画・イメージソングの最優秀賞・優秀賞受賞者を表彰します。

日時　令和元年 6 月 7 日（金）14:00～15:30

場所　ホテルアバローム紀の国　2 階　鳳凰の間（和歌山市湊通丁北 2-1-2）

日程

【設立会】14:00～14:20

開　　会	
あ い さ つ	会長（県教育長）
経 過 報 告	実行委員会設立までの準備経過
議　　事	和歌山県実行委員会会則
役員・委員委嘱	
閉　　会	

【第 1 回実行委員会】14:20～15:30

開　　会	
あ い さ つ	名誉会長(知事)、名誉副会長(全国高等学校文化連盟会長)
報 告 事 項	大会基本方針等、高校生の活動発表(イメージソング、活動)
表　彰　式	各種公募の最優秀賞・優秀賞
議　　事	開催要綱、令和元年度事業計画、令和元年度収支予算
閉　　会	

※詳細については、別紙のとおり

全国高等学校総合文化祭とは

昭和 52 年から開催されている全国の高校生による国内最大規模の芸術文化活動の発表の場です。高校生の創造活動の向上や相互交流を深めることを目的として開催され、全国から約 2 万人の高校生が参加します。

演劇、合唱、郷土芸能、写真、美術・工芸、将棋、囲碁等の部門があり、全国高等学校総合体育大会（通称：インターハイ）に対し、「文化部のインターハイ」とよばれています。

第４５回全国高等学校総合文化祭
和歌山県実行委員会設立会

次　第

１　開　　会

２　あいさつ

　和歌山県教育委員会教育長　　宮﨑　泉

３　経過報告

　第４５回全国高等学校総合文化祭和歌山県実行委員会設立までの準備経過について

４　議　　事

第１号議案

　第４５回全国高等学校総合文化祭和歌山県実行委員会会則（案）について

５　第４５回全国高等学校総合文化祭和歌山県実行委員会役員、委員等の委嘱

６　閉　　会

第４５回全国高等学校総合文化祭第１回和歌山県実行委員会

次　第

１　開　　会

２　あいさつ

名 誉 会 長　　仁坂　吉伸　　和歌山県知事

名誉副会長　　五日市　健　　公益社団法人全国高等学校文化連盟会長

３　報告事項

（１）大会基本方針等について

（大会基本方針、大会愛称、大会マスコットキャラクター、
大会テーマ、ポスター原画、イメージソング、大会テーマ毛筆表現）

（２）イメージソング披露（和歌山県立向陽中学校・高等学校合唱部）

（３）生徒委員会の活動について（生徒委員会委員代表３名）

４　表彰式（大会テーマ、ポスター原画、イメージソング、大会テーマ毛筆表現）

※記念写真撮影

５　議　　事（議長：実行委員会会長　宮﨑　泉）

（１）第１号議案　第４５回全国高等学校総合文化祭開催要綱（案）について

（２）第２号議案　第４５回全国高等学校総合文化祭和歌山県実行委員会
令和元年度事業計画（案）について

（３）第３号議案　第４５回全国高等学校総合文化祭和歌山県実行委員会
令和元年度収支予算（案）について

６　閉　　会

第４５回全国高等学校総合文化祭和歌山大会　大会基本方針

紀伊山地は、古来より神々が鎮まる神聖な場所として崇(あが)められ、多くの人がこの地を訪れました。豊かな自然と人々が育んだ祈りの風景は世界遺産にも登録され、今も人々を魅了し続けています。

人々の心や営みに自然が息づく和歌山の地に、創造性あふれる高校生が集います。多様な文化とふれあいながら郷土への想(おも)いを育むとともに、未来を拓(ひら)く新たな文化を築きます。

和　～ friendship ～

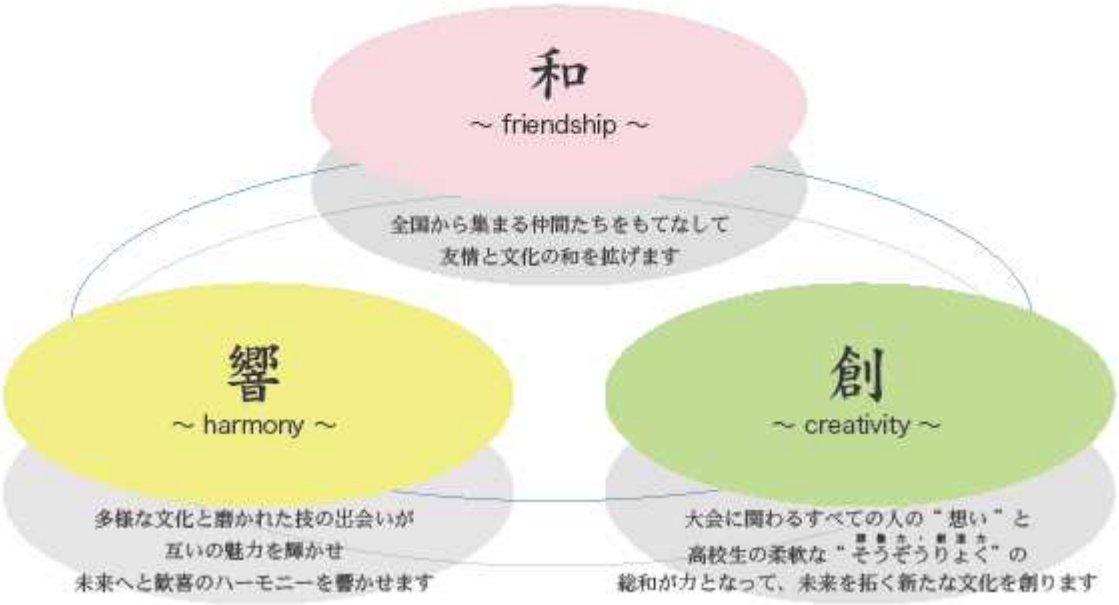
先人達は和歌山を訪れる人たちを温かく迎え入れ、確かな絆を築いてきました。私たちも全国から集まる仲間たちをもてなして、友情と文化の和を拡(ひろ)げます。

響　～ harmony ～

万葉の旅人は紀の国の美しい風景を和歌(うた)に詠み、その素晴らしさを今に伝えました。多様な文化と磨かれた技の出会いが、互いの魅力を輝かせ、未来へと歓喜のハーモニーを響かせます。

創　～ creativity ～

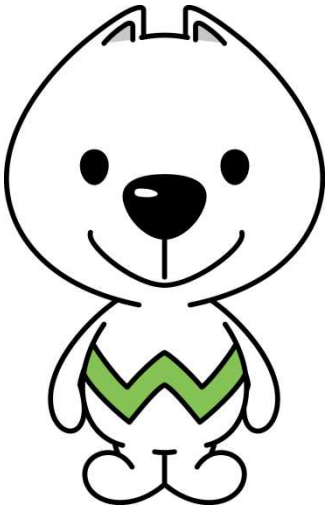
進取の気質に富み創意工夫にあふれた紀州人は、その技と心を人々に惜しみなく伝え、多くの礎を築きました。大会に関わるすべての人の“想(おも)い”と高校生の柔軟な“そうぞうりょく(想像力・創造力)”の総和が力となって、未来を拓(ひら)く新たな文化を創ります。



大会愛称

紀の国わかやま総文２０２１

大会マスコットキャラクター



きいちゃん
（和歌山県ＰＲキャラクター）

大会テーマ

届けよう和の心　若葉が奏でるハーモニー

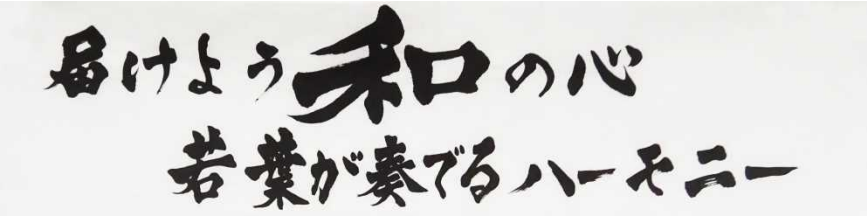
（原案：和歌山信愛高等学校　１年　谷口　芽依　さん）

【作品の説明】

「和の心」の「和」は、「和歌山」と本来の意味である「互いに相手を尊重し、協力し合う関係」という意味を込めました。「若葉」は、フレッシュな高校生と和歌山の豊かな自然を表しています。わかやま総文で、様々な文化や磨かれた技が出会うことによって生まれるハーモニーを、広く伝承していきたいと考えました。近年、グローバル化が進む中、忘れられがちな日本(和)の良さをわかやま総文で思い出し、枯れてもまた緑の葉を付ける若葉のように、いつまでも受け継がれていってほしいと思います。

※在籍校・学年は応募時のものです。（以下同じ。）

大会テーマ毛筆表現



（横書き：県立紀央館高等学校　２年　手島　千奈さん）

【作品の説明】

大会テーマから、自然や日本人の優しさ（和の心）が伝わると思いました。優しく、尚且つ、弱くなりすぎないように、一目見たときに迫力があり、学生の心強さ、元気さ、芯の通った様に表現したかったので、この書風にしました。

（縦書き：県立星林高等学校　２年　四元　このは）

【作品の説明】

和の心を届けたいと思い、「届けよう和の心」を大きく書きました。文字どうしがぶつかってしまったり、文字の幅が狭くなってしまったり、一つの紙にまとめることに苦戦しましたが、何度も書くことで一つの紙の中でのバランスや墨量などをまとめることができ、迫力のある作品を作ることができたと思います。

ポスター原画

（県立向陽高等学校　２年　山本　彩葉さん）

【作品の説明】

海に浮かぶクジラから和歌山の特産物が噴き出し、空に高校生たちが羽ばたいている構造にしました。遠近感を出したり、高校生の文化祭だとひと目で分かる様に描くのが難しかったですが、世界観が広がる、迫力ある絵になったと思います。

イメージソング

「届けよう　和の心」

（１番）

緑があふれる　この和歌山で
青春を共にする　仲間と出会った
夢を共においかけ　奏でる　和のハーモニー
自分を信じ　仲間を信じ　未来へ進もう
時には苦しくもなる　あきらめたくもなる
でもだれにも負けないような
強い想いがここにある
さあみんなで奏でよう
友情と和のハーモニー
山をこえて届けよう　私たちの和の心

（２番）

自然があふれる　この和歌山は
優しいハーモニーで　明日へとみちびく
まだ見たことのない　明日の自分を見るため
今スタートラインに立とう　さあ上を向いて
不安でも大丈夫さ　自然や仲間が
見守ってくれている
何度でも立ちあがるんだ
さあみんなで響かせよう
友情と和のハーモニー
海をこえて届けよう　私たちの和の心

（歌詞：県立星林高等学校　３年　森本　七彩さん）

【作品の説明】

この自然あふれる和歌山には、今までに出会った友達や部活で一緒にのりこえてきた仲間たちがいるから前に進めていると思ったので、このような歌詞にしました。私たちが奏でるハーモニーを他府県の方にも海や山をこえて伝われば良いと思います。

（曲：県立日高高等学校　２年　田端　志帆さん）

【作品の説明】

明るい親しみやすい曲になるように考えて作曲しました。伴奏もコード進行を工夫してつけました。

第４５回全国高等学校総合文化祭和歌山大会　各種公募における表彰者一覧

※在籍校・学年は応募時のものです。

１　大会テーマ

賞	学校名	学年	氏名
最　優　秀	和歌山信愛高等学校	１年	谷口　芽依
優　　秀	和歌山信愛高等学校	２年	阪口　愛美
優　　秀	和歌山県立桐蔭高等学校	２年	馬倉　幸奈
優　　秀	和歌山県立古佐田丘中学校	１年	木村　真緒

２　大会テーマ毛筆表現

【横書き】

賞	学校名	学年	氏名
最　優　秀	和歌山県立紀央館高等学校	２年	手島　千奈
優　　秀	和歌山県立星林高等学校	２年	松間　実咲
優　　秀	和歌山県立紀央館高等学校	２年	伊藤　光玲
優　　秀	和歌山県立海南高等学校海南校舎	１年	吉村　みち留
優　　秀	和歌山県立海南高等学校海南校舎	１年	柳　和佳

【縦書き】

賞	学校名	学年	氏名
最　優　秀	和歌山県立星林高等学校	２年	四元　このは
優　　秀	和歌山県立紀央館高等学校	２年	山本　鮎美
優　　秀	和歌山県立紀央館高等学校	２年	柳澤　玲那
優　　秀	和歌山県立紀央館高等学校	２年	佐竹　里胡
優　　秀	和歌山県立星林高等学校	２年	樋口　裕夏

３　ポスター原画

賞	学校名	学年	氏名
最　優　秀	和歌山県立向陽校等学校	２年	山本　彩葉
優　　秀	和歌山県立桐蔭高等学校	２年	森下　友梨香
優　　秀	和歌山県立橋本高等学校	３年	守内　晴美
優　　秀	和歌山県立新宮高等学校	１年	敷地　ちる

４　イメージソング

【歌詞】

賞	学校名	学年	氏名
最　優　秀	和歌山県立星林高等学校	３年	森本　七彩
優　　秀	和歌山県立田辺高等学校	１年	合唱部１年生 代表生徒：児玉　彩夏
優　　秀	和歌山県立田辺高等学校	２年	中島　れんげ
優　　秀	和歌山県立神島高等学校	２年	グループ名：Saxphone 代表生徒：堅田　早陽
優　　秀	和歌山県立向陽高等学校	１年	深田　鈴加
優　　秀	和歌山県立桐蔭高等学校	１年	松尾　莉子

【曲】

賞	学校名	学年	氏名
最　優　秀	和歌山県立日高高等学校	２年	田端　志帆
優　　秀	和歌山県立星林高等学校	２年	阿部　幸音
優　　秀	和歌山県立向陽校等学校	２年	グループ名：さえここ 藤本　瑚々、尾崎　咲愛子

報道発表

文化庁
Agency for Cultural Affairs, Government of Japan

令和元年５月３０日

第４５回全国高等学校総合文化祭の開催地の決定について

この度，令和３年度に行われる第４５回全国高等学校総合文化祭の開催地を**和歌山県**に決定しましたので，お知らせします。

１　全国高等学校総合文化祭の目的

全国高等学校総合文化祭は，昭和５２年から開催されている全国の高校生による国内最大規模の芸術文化活動の発表の場であり，高校生の創造活動の向上や相互交流を深めることを目的としています。

２　主催

文化庁，公益社団法人全国高等学校文化連盟，和歌山県，和歌山県教育委員会，開催地市町村，開催地市町村教育委員会，和歌山県高等学校文化連盟

３　開催期間

令和３年７月３１日（土）～　８月６日（金）（７日間）（予定）

４　大会愛称

「紀の国わかやま総文２０２１」

５　大会テーマ

「届けよう和の心　若葉が奏でるハーモニー」

＜担当＞　文化庁参事官（芸術文化担当）付
学校芸術教育室文化活動振興係
文化戦略官　　根来　恭子
係　　長　　下平　幸人
電話：03-5253-4111（代表）内線 2832

全国高等学校総合文化祭

全国都道府県代表の高等学校の生徒による芸術文化活動の発表会を総合的に開催し，創造活動の向上を図るとともに相互の交流を深めることにより，芸術文化の振興に資することを目的としています。

1　主催

文化庁，公益社団法人全国高等学校文化連盟，開催地都道府県，開催地都道府県教育委員会，開催地市町村教育委員会，開催地市町村　等

2　事業の内容

（１）総合開会式

（２）パレード

（３）開催部門

演劇，合唱，吹奏楽，器楽・管弦楽，日本音楽，吟詠剣詩舞，郷土芸能，マーチングバンド・バトントワリング，美術・工芸，書道，写真，放送，囲碁，将棋，弁論，小倉百人一首かるた，新聞，文芸，自然科学　ほか

3　開催実績及び開催県の内定状況

年度	回数	開催地	開催期間	年度	回数	開催地	開催期間
昭和52	1	千葉県	52. 7.31～ 8. 3	13	25	福岡県	13. 8. 3～ 8. 7
53	2	兵庫県	53. 8. 2～ 8. 5	14	26	神奈川県	14. 8. 7～ 8.11
54	3	大分県	54. 8. 1～ 8. 4	15	27	福井県	15. 8. 8～ 8.12
55	4	石川県	55. 8. 5～ 8.10	16	28	徳島県	16. 7.30～ 8. 3
56	5	秋田県	56. 7.29～ 8. 2	17	29	青森県	17. 7.27～ 7.31
57	6	栃木県	57. 7.29～ 8. 3	18	30	京都府	18. 8. 2～ 8. 6
58	7	山口県	58. 8. 2～ 8. 4	19	31	島根県	19. 7.29～ 8. 2
59	8	岐阜県	59. 7.31～ 8. 3	20	32	群馬県	20. 8. 6～ 8.10
60	9	岩手県	60. 8. 2～ 8. 7	21	33	三重県	21. 7.29～ 8. 2
61	10	大阪府	61. 8. 5～ 8. 8	22	34	宮崎県	22. 8. 1～ 8. 5
62	11	愛知県	62. 8. 4～ 8. 7	23	35	福島県	23. 8. 3～ 8. 7
63	12	熊本県	63. 8. 3～ 8. 7	24	36	富山県	24. 8. 8～ 8.12
平成元	13	岡山県	元. 8. 2～ 8. 8	25	37	長崎県	25. 7.31～ 8. 4
2	14	山梨県	2. 8. 1～ 8. 8	26	38	茨城県	26. 7.27～ 7.31
3	15	香川県	3. 8. 1～ 8. 4	27	39	滋賀県	27. 7.28～ 8. 1
4	16	沖縄県	4. 8. 3～ 8. 7	28	40	広島県	28. 7.30～ 8. 3
5	17	埼玉県	5. 8. 4～ 8. 8	29	41	宮城県	29. 7.31～ 8. 4
6	18	愛媛県	6. 8. 4～ 8. 8	30	42	長野県	30. 8. 7～ 8.11
7	19	新潟県	7. 8. 4～ 8. 8	令和元	43	佐賀県	元. 7.27～ 8. 1
8	20	北海道	8. 8. 6～ 8.10	2	44	高知県	2. 7.31～ 8. 6
9	21	奈良県	9. 8. 7～ 8.11	3	45	和歌山県	3.7.31～ 8.6(予定)
10	22	鳥取県	10. 8. 7～ 8.11	4	46	東京都	未定
11	23	山形県	11. 7.30～ 8. 3	5	47	鹿児島県	未定
12	24	静岡県	12. 8. 5～ 8. 9				

4　その他

全国高等学校総合文化祭の演劇・日本音楽・郷土芸能の各部門で優秀校に選ばれた高校等が一堂に会して発表を行う「全国高等学校総合文化祭優秀校東京公演」を毎年，国立劇場で開催。（令和元年度が第３０回）